

地域ブランド戦略研究所

所長 西川和明

1. 研究目的

企業がマーケティングにおいて自社ブランドの認知度を図るための戦略を取るのと同様に、いわゆる「地域産品」のマーケティングにおいても、消費者に受け入れられるための「地域ブランド戦略」が重要である。

ところが、企業に比べて地域においてはその取り組みが不十分であるために、製品としてはいいものであっても販路を確保するに至っていないものが数多く見受けられる。地域の自治体、企業、グループが「地域ブランド」育成を行う際の戦略的取り組みを支援することを目的として研究を行う。

2. メンバー

代表	経済経営学類教授	西川和明
研究分担者 (プロジェクト研究員)	経済経営学類准教授 経済経営学類准教授 福島大学地域創造支援センター教授 農山村定住促進研究所代表	尹卿烈 小山良太 丹治惣兵衛 吉沢保貴
連携研究者 (プロジェクト客員研究員)	東海大学副学長 郡山女子大学准教授 中小企業診断協会福島県支部理事 株式会社タカラ印刷常務取締役 (ニュービジネス協議会)	西村弘行 平出美穂子 菅野寛 林由美子

3. 研究活動

- ①白河市の農産物ブランド化に関する支援
 - a. 白河市農産物ブランド化基本方針の策定
 - b. 同認証制度実施要領の策定
- ②白河市「食と農の基本計画」答申案作成に参画
- ③福島県主催「食彩ふくしま地産地消フェスタ2009」にブースを設けて出展
- ④中小企業交流フォーラムの開催を支援（11月5日コラッセふくしまで開催）

ある白河ブランド戦略委員会の人選と実施要領の制定を行い、準備作業をすべて完了した。

ブランド化を研究するためにアグリフード EXPO の視察も行った(東京ビッグサイト)



4. 研究成果

①白河市の農産物ブランド化

当事業を具体的に推進するための「白河市農産物ブランド化基本方針」および、「白河市農産物ブランド認証制度実施要領」を策定し、さらに、ロゴマークを一般から募集して制定を行った。平成22年度から実際の認証を行うべく、実施機関で



白河市農産物ブランドのロゴマーク

② 福島県主催「食彩ふくしま地産地消フェスタ 2009」にブースを設けて出展

10月3日、郡山市日和田にある県農業総合センターで開催されたこのフェスタは、県内の農林水産関係の生産者団体等が一堂に会して、日ごろの農林水産振興に関する取組み等をPRし、旬の農林水産物の展示・販売等を通して、県民が一体となった地産地消を推進することを目的に開催された。

会場では、生産者、販売者のブースに交じって、体験・参加型イベントとして、米の重量をあてるクイズ大会や、同市湖南町の特産品「米粉かりんとう」づくり、屋外に設けられた簡易プールではウニやタコなど磯の生き物に触れるユニークな展示も行われ、来場者の人気を集めていた。

農林水産関係約70団体が県産の大豆製品や有機農産物、加工製品などの展示・販売を行う中、当研究所では、農工商連携による地域ブランド品づくりへの支援をPRした。

③ 中小企業交流フォーラムの開催を支援（11月5日 コラッセふくしまで開催）

中小企業交流フォーラムでは代表の西川和明教授およびプロジェクト研究員の尹卿烈准教授、小山良太准教授がそれぞれコーディネータとして、地域ビジネスの創出・地域ブランド化に関する活動を行った。

